

14人の議員が43項目の質問を行い、町長の考えをいただきました。



不測の事態にも対応

兼山 益大 議員
地元貢献度評価

Q 町内業者を優先に選定

質問(議員) 町内業者は、災害などの際、どの工事業者よりも早く現地向かうと予測される。このような地元貢献を信頼性の確保として評価し、町内業者への業務発注を優先すべきではないか。

答弁(町長) 安心安全の確保に多大な貢献をいただいている。町の活性化にもつながるものと考えており、町内業者を優先に選定している。引き続き町内業者の育成に配慮する。

Q 町発注を通して町内業者の育成を

質問(議員) 町内業者は、災害などの際、どの工事業者よりも早く現地向かうと予測される。このような地元貢献を信頼性の確保として評価し、町内業者への業務発注を優先すべきではないか。

答弁(町長) 安心安全の確保に多大な貢献をいただいている。町の活性化にもつながるものと考えており、町内業者を優先に選定している。引き続き町内業者の育成に配慮する。

Q 施設使用料を全額か半額免除へ

質問(議員) 町に關与する各種団体は、全て全額か半額免除に統一するなど、施設使用と減免について現規約の変更を考えてはどうか。

答弁(町長) 施設利用の向上がより一層図られるよう減免措置団体選定のあり方や基準等について、平成二十四年度見直しを行う。

西田 祐三 議員
財政問題

Q 健全化を

質問(議員) 財政の収支見通しと財政健全化計画を早く示し健全化への対応を。

答弁(町長) 収支の見通しはこの予算の決議以降に、財政健全化計画は平成二十四年度中に示す。

Q 照明灯のLED化を

質問(議員) LED化の推進は、改修工事などの機会をとらえ、順次、進める

答弁(町長) 照明灯のLED化は、改修工事などの機会をとらえ、順次、進める

Q 見通しと計画を示す

質問(議員) 財政の収支見通しと財政健全化計画を早く示し健全化への対応を。

答弁(町長) 収支の見通しはこの予算の決議以降に、財政健全化計画は平成二十四年度中に示す。

Q アダプト(里親)制度の推進を

質問(議員) アダプト制度を活用し瀬野川、三迫川の環境美化の具現化を図ってはどうか。

答弁(町長) 瀬野川河川敷の一部で植栽をしているが、今後より一層ラブリバー制度の活用を促進し、住民と協働で河川の環境美化に努める。(写真)

その他の質問 ●メガソーラーの導入を



河川敷のひと輝くお花畑と鳥



ほかのところもよろしくね

住吉 秀公 議員
住宅対策

Q 高齢者世帯向けの町営住宅を

調査・研究する

質問(議員) バリアフリー化された住宅と、生活援助員によるサービスの提供を併せて行う、高齢者世帯向けの町営住宅を建設してはどうか。

答弁(町長) 高齢者に配慮した住宅について、課題であると認識しており、今後調査・研究する。

質問(議員) つくも町の国有地を無償で借り受け、県と共同で建設してはどうか。

答弁(副町長) 私も同じ構想を持っている。

Q 児童クラブの開所時刻を早めよ

指導員確保が困難

質問(議員) 夏休みの児童クラブの開所時刻を、保育所と同じく午前七時十五分にしてはどうか。

答弁(町長) 長期休業期間のみ、短時間指導員を確保することが困難なことから難しいと考える。

その他の質問

- 水害時の避難について
- 私有道路の町道編入について

佐中 十九昭 議員
新庁舎建設費

Q 県海田庁舎に二〇億円程度で建設可能

駅前に変わりは無。費用は考慮する

質問(議員) 庁舎建設場所は依然として駅前を主張されている。費用も約二八億円と高額である。

答弁(町長) 庁舎建設は、一貫して駅前がふさわしいと思っている。県海田庁舎への建設は考えていない。新庁舎の規模や機能については、今後議員や町民の皆さんの意見を聴き、費用対効果を十分考慮し、可能な限り経費の削減に努める。

調査・研究する

質問(議員) バリアフリー化された住宅と、生活援助員によるサービスの提供を併せて行う、高齢者世帯向けの町営住宅を建設してはどうか。

答弁(町長) 高齢者に配慮した住宅について、課題であると認識しており、今後調査・研究する。

質問(議員) つくも町の国有地を無償で借り受け、県と共同で建設してはどうか。

答弁(副町長) 私も同じ構想を持っている。

Q 児童クラブの開所時刻を早めよ

指導員確保が困難

質問(議員) 夏休みの児童クラブの開所時刻を、保育所と同じく午前七時十五分にしてはどうか。

答弁(町長) 長期休業期間のみ、短時間指導員を確保することが困難なことから難しいと考える。

その他の質問

- 議会と執行部との関係について
- 仮庁舎について
- 町財政と大型公共事業について

その他の質問 ●議会と執行部との関係について ●仮庁舎について ●町財政と大型公共事業について



庁舎建設は、最低の費用で建設を

桑原 公治 議員
不登校問題

Q サポートセンターの設置を

A 適応指導教室を充実させる

【質問(議員)】 不登校児童・生徒が気軽に相談したり、学習したりする居場所としての生活の場が必要と考える。退職した教員によるサポートセンターを設置してはどうか。

【答弁(教育長・学校教育課長)】 現在、不登校児童・生徒への対応として行っている適応指導教室は、海田町で勤務した元校長が指導員をしており、教育相談も行っている。これがサポートセンターとしての機能を果たしているため、適応指導教室の機能を高めることで対応していく。

Q 駅南口タクシー乗場の整理を

A 県と協議して改善策を検討

【質問(議員)】 通勤、通学時間帯の海田市駅南口は大変混雑している。また、客待ちタクシーも多い。待機場所に入りきらず、空車が並んで一般車両の通行の妨げになっていることもある。このような状況をどう整理するのか。

【答弁(町長)】 待機場所から溢れたタクシーが駐車している場所は、県道で、待機場所は町有地である。今後、他地区の管理事例などを研究し、ルールづくりとあわせて県と協議し、改善策を検討する。



早期の混雑解消を

Q 購入してはどうか

A 考えていない

【質問(議員)】 県合同庁舎跡地は町の中心に位置し、今後のまちづくりにかかせない土地である。県に購入を申入れてはどうか。

【答弁(町長)】 必要性がないので申入れはしない。

【質問(議員)】 通学区域の見直しを

【答弁(教育長)】 通学区域の自由化については、現在考えていない。海田小学校の件も含めて全町的な課題を通学区域審議会で検討していく。

A 審議会を検討する

【質問(議員)】 海田西中学校の生徒数が減少し、クラブ活動などに支障が出



アンバランスの解消を

多田 雄一 議員
県合同庁舎跡地

下岡 憲国 議員
新庁舎建設

Q 住民投票により位置決定を

A その考えはない

【質問(議員)】 議決権を持つ議会と執行権を持つ町長の意思が異なる時、町民が住民投票で決めるしかない。その考えがないなら町長は他の解決策を示すべきである。

【答弁(町長)】 公約どおり駅南口に新庁舎を建設する。

Q 敵保育所はふるさと館以外で

A ふるさと館に建替える

【質問(議員)】 将来の少子化や政府が検討中の「総合こども園」制度との整合性、保護

者の利便性、厳しい財政事情などを考慮すると、敵、西浜、幸の三保育所を次々と建替えるのではなく、町営プール跡地に統合し建設する案が最善と考えるが。

【答弁(町長)】 三保育所を統合することは考えていない。

Q 駅南口土地区画整理事業において、J

Rのいつ、何の建物かの計画が不明のまま強行するのは不適切だ

【質問(議員)】 区画整理事業と建物の整備は異なる事業である



議会の決めた新庁舎位置「県 海田庁舎」

Q 受診率六十五%達成への得策は

A 先進保険者の取り組みを参考に実施

【質問(議員)】 国は医療費の増大に伴い、国民健康保険加入者の四十歳から七十四歳までを対象に、特定健康診査の義務付けをしている。平成二十五年三月三十一日までに国の受診率目標六十五%に達しない場合は、後期高齢者の医療費の負担額は最大十%加算し、国民健康保険税に上乗せすると言っている。しかし、海田町の受診率は二十二年度は三十%あまりで、目標値にはかなり離れている。今後六十五%に達するためにどのような得策

を考えているのか。

【答弁(町長)】 町の広報、はがき、電話、保健師による家庭訪問など、これまでの実施状況を踏まえ一人でも多くの方に受診してもらおうよう、先進保険者の取り組みを参考にしながら実施する。また未受診者に対する受診勧奨については、引き続き、保健師による訪問を重点的に実施し、町広報への掲載や健診のしおりの配布など、あらゆる機会を捉えて勧奨していく。



届いたら書いてね受診票

大江 康子 議員
特定健診

岡田 良訓 議員

ふるさと館

Q 存続を

A 千葉邸に機能を移す

【質問(議員)】老朽化した畝保育所の建て替え場所として、「ふるさと館」用地への建て替え計画が進められているが、系統的に郷土の歴史を学ぶ機会も、地域の学習の場もなくなるのではないかと。郷土資料館的なものがあり、残すべきではないか。
【答弁(町長)】千葉邸の一部を整備し資料を展示する。また畝保育所の移転建替整備に関する請願が昨年十二月議会にて採択されたので「ふるさと館」用地に畝保育所を新築する。

Q 小中学校にエアコン整備を

A 扇風機で対応

【質問(議員)】夏の教室は四十度近くになり、子供たちが首にタオルを巻いて勉強するなど大変な環境にある。早期にエアコンを整備すべきではないか。
【答弁(教育長)】扇風機を設置したので、それに対応する。今後エアコンが必要になった場合は、財政状況をみて検討する。

●道路のバリアフリー化について



どうなるのか



国信浄水場の整備を早急に

西山 勝子 議員

高齢者支援

Q 肺炎球菌ワクチン接種に公費助成を

A 七十五歳以上の高齢者に助成を行う

【質問(議員)】成人用の肺炎球菌ワクチンを接種することで、感染症の重症化を予防することができる。高齢者の健康を守るために接種費用の公費助成を行う考えはないか。
【答弁(町長)】肺炎予防と医療費抑制の観点から平成二十四年度から公費助成を行う。
【質問(議員)】接種費用は大体六、〇〇〇円から八、〇〇〇円かかるが、一回の助成額はいくらか。

【答弁(保健センター所長)】助成金額は、一人一回につき三、〇〇〇円である。

Q 水道事業の今後の見通しは
A 財政計画の策定を行う予定

【質問(議員)】地方公営企業法の改正に伴い企業債を資本の部から負債の部に変更することになる。施設の更新耐震化のための長期資本計画の策定期間はいつか。
【答弁(水道課長)】平成二十六年に財政計画の策定を行う予定にしている。

その他の質問

- 期日前投票の事務の簡素化について
- 公民館改修事業について
- 一括法の施行に伴い町の対応について

渡辺 善隆 議員

自治体の災害協定

Q ホームページの代理掲載を

A 必要ないと考えている

【質問(議員)】役所が被災し、ホームページのサーバが使用不能となった場合に、住民への情報発信手段が断たれる。これを防ぐために、遠隔地の自治体にホームページを代理掲載してもらおう仕組みがあるが、本町でも遠隔地の自治体と連携して、災害時の協力体制の充実と強化を図る考えはないか。

【答弁(町長)】本町では、サーバの保守や大規模災害対策などを含むホームページの安定稼働を目的に、平成二十四年一月からホームページ保守管理サービスを導入し、外部のデータセンターに設置されたサーバを利用している。このデータセンターは、災害の影響を受けにくい安全な建物内にあるため、ホームページの代理掲載を実施する必要はないと考えている。

●妊婦に役立つ情報メールについて



途絶えない情報発信を



防災広場をあわせ持つグラウンドに

崎本 広美 議員

中学校

Q 施設の充実を

A 教育活動の拡充とあわせ

防災広場機能として整備

【質問(議員)】未利用地となっている町営プール跡地を整備し、教育用グラウンドの拡充を図ってはどうか。
【答弁(町長)】今回の平成二十三年度補正予算のとおり、今後、海田中学校の町営プール跡地を更地とし、部活動をはじめとする教育活動の拡充を図ると同時に、防災広場機能もあわせ持った整備を行う。

Q 公共事業による不整形な残地解消を
A 解消に努める

【質問(議員)】公共事業に伴う不整形な残地解消を図ってはどうか。
【答弁(町長)】残地の解消については、当事者双方の話し合いによることになるが、町としても公共施設の移設などにできる限り協力する。

その他の質問

- 新庁舎建設について



空き家となった県海田庁舎

前田 勝男 議員
庁舎の建設位置

Q 一貫性を持った姿勢で行政に

A 町発展のため努めている

質問(議員) 連続立体交差事業が一、二年延びたこの機会に、仮庁舎に移転したり無駄な税金を使うようなことをせず、駅前よりも安くつく県海田庁舎跡地に役場を建設してはどうか。また、町長の考えが二転三転したり、役場を駅前に固執して千葉倉庫用地にマンションを建てるため、建設業者を呼び見積りをとったりすることは、非常に不透明行為でもあり、民間の用地のことに自治体が関与すべ

答弁(町長) 最初から一貫している子育て支援施設や公益部分の開放により、にぎわいを創出し駅前におさわしい新庁舎は重要な役割を担うと思う。また、業者を呼び見積りをさせたことは町発展のためであり、やましいことは一切ない。二転三転については、基本計画を立てる中で単独建設方式になったもので、当初から単独では考えていない。

その他
の質問

- 柔道の必須化について
- 畝保育所の整備資金について
- 町内の交通標識について
- 三迫公園便所について

宗像 啓之 議員
畝保育所の移転

Q 将来の総合こども園に対応できるのか

A 可能と考えている

質問(議員) 国が子育て支援の変更を検討する中で、その動向を見極める必要があるのではないか。

答弁(町長) 動向を注視する必要があるが、現段階において大きな支障はない。

質問(議員) 新年度に新規に乳児保育園が開所するが、応募状況はどうか。

答弁(福祉保健部長) 定員が増えたにもかかわらず、昨年はなかった待機児童が五十九人いる。早い時期に畝

保育所の建替えを行い解消したい。

Q 仮庁舎について県との協議は

A 県海田庁舎を借りることとした

質問(議員) 県の担当部署は、仮移転の要請を行っていないし、このような状態でのこれに係る費用の補償は原則できないとの説明があった。どのような協議を行ったのか。

答弁(副町長) 町長と知事とのトップ会談で決まった。



仮庁舎は必要か